

研究計画書

<b>ゼミ名</b>	筒井ゼミ II	<b>チーム名</b>	チーム B
<b>タイトル</b>	結婚した方が幸せかどうか？		
<b>テーマ群</b>	g)その他		
<b>メンバー</b>			
<b>研究計画内容</b>	<p>研究の背景と目的：最近テレビやニュースで離婚や不倫などの報道がよくされている。そして、未婚率も上昇している。内閣府の情報によると、30～34 歳では、男性はおよそ 2 人に 1 人(47.1%)、女性はおよそ 3 人に 1 人(34.6%)が未婚であり、35～39 歳では、男性はおよそ 3 人に 1 人(35.0%)、女性はおよそ 4 人に 1 人(23.9%)が未婚となっている。</p> <p>そこで私たちはふと疑問に思った。結婚すると必ず幸せになるのかと。結婚して幸せなら不倫や離婚もしないはずである。私たちが結婚すれば幸せになると思っていた。しかし、研究を重ねるにつれ必ずしもそうではないことが分かってきた。性別、性格、年収、年の差、既婚者に対して結婚年数、幸せのピークはいつだったのか？などの様々な項目が原因で離婚や不倫に繋がることも分かってきた。このような要因によって離婚や不倫がおこってしまっているのであれば、それらを解決することによりこれからのためになると思ったので、このような研究を行うことにした。</p> <p><b>研究の内容と期待される成果</b>：結婚すると幸せになるのかどうかという疑問を解明するために、私たちの班はインターネットを通じて性別、性格、年収、年の差、既婚者に対して結婚年数、幸せのピークはいつだったのか？などの項目を使ってアンケートを実施することにした。そしてたくさんの方からのアンケート結果がよせられた。アンケート結果はまだ集計できていないが、それぞれの項目に対して一つずつ仮説を立てた。性格は似ている方が幸せである。年収に関しては、年収が多い人ほど結婚して満足している人が多い。結婚時の年齢が早い人ほど満足度が低い。これらのアンケート集計結果を用いることで結婚すれば幸せになるかが分かる。</p>		